

## 眺めの良い尾根を歩く 檜寄山・笹尾根

実施日 2014年3月9日(日)  
 天候 晴れ  
 リーダー 中村 友子  
 参加者 涌井良明、島本陳重、白石恵美子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、石附智子、佐藤政司、瀧澤きよの 計12名  
 費用 2,150円(高尾起算)  
 タイム 上野原駅(☎8:28~9:18)郷原(9:25~11:15)檜寄山(11:25~12:10)数馬峠(12:30~13:20)丸山(13:30~14:45)日寄橋BS(☎14:59~15:32)上野原駅

今年の数十年ぶりの大雪は上野原北部で1mを超え、寸前まで実施する可否か惑わされた。

先輩リーダー方々の大丈夫だよの言葉と多大な協力により、記憶に残る雪山山行が出来た。檜原観光協会に聞いてももう少し待った方が良い、上野原市役所に聞いてもハッキリわからないの返答で迷い、ネットで検索しても様子が見つめず、エスケープルートも考えての山行だった。

郷原バス停に近くなるにつれ左右に多くの残雪が見られ、バス路線開通に時間を要した事か想像出来た。

歩き始めて間もなく数名アイゼン装着する。南斜面ではあるが、雪は残り山頂まで本日の踏み跡は無い。所によって40~50センチはありそうだ。

雪質は問題なく、皆快調に山頂を目指し夏時間で登頂出来た。山頂手前左右の



分岐でいずれにも行かず直登した。距離は短かったが雪山ならではの事で時間短縮が出来ビックリ。



写真休憩とし、すぐ出発、笹尾根を東方面に登り下り進んだ。富士山は雲の中で見えなかったが、眺めは素

晴らしく、とりわけ数馬峠では広く開けており昼食場所としては最高である。しかし今回は休憩時間を短く、昼食は休憩時間内で各自と伝えていたので最高の場所で20分のみとした。

丸山へ最後の登りとなったが夏道では笛吹峠を通過するのだが、踏み跡は冬道だったのか丸山山頂で道標は違う方向を指していた。

日寄橋への南斜面は快調に始まったが低地になるにつれ40センチほどの残雪がザラメ状態に解け足が沈み歩きづらい。



それでも時間通りバス停に到着、14:58発のバスに乗車出来た。

次発16:42最終バスは時間が

中途半端で冬季ということもあり休憩時間を短縮しての山行だったが全員の協力ですぐ当初予定通り遂行出来た。

楽しい雪山山行でしたね、お疲れ様でした。

(記・中村 友子)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)